



はさみ川

「きれいになったばい」

「緑と水を考える会」が主催する河川清掃

こんにちは！  
議会です  
No.115

# はさみ

平成23年8月号

《長崎県波佐見町議会》

6月定例会

- 鹿山団地建替工事スタート!..... 2
- 限りある水を大切に!  
上水道事業会計の決算..... 2
- 行動する委員会  
西ノ原土地区画整理事業費27.5%削減... 4~5
- 一般質問 政策を問う ..... 6~11



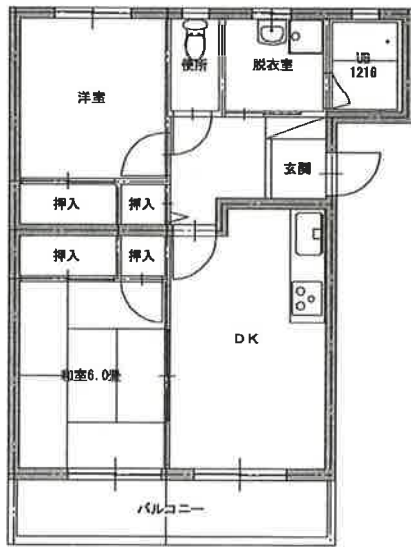
町営住宅・鹿山団地建替工事（5年計画）

# 初年度スタート!!

## 6月 定例会

6月15日～6月20日

平成22年度上水道事業会計決算の認定、平成23年度一般会計補正予算（第1号）、町営住宅鹿山団地建設工事請負契約の締結、条例改正など9議案・3報告が上程され、慎重に審議した結果、原案どおり可決した。



2DK 間取図（予想図）

### 町営住宅・鹿山団地建替工事の請負契約

- ・契約の方法 指名競争入札
- ・契約金額 1億1327万4000円
- ・契約の相手 小佐々建設・長島建設共同企業体  
代表(株)小佐々建設

## 平成22年度 上水道事業会計決算



1人あたりの1日の使用水量は231ℓ  
2ℓペットボトルおよそ115本です

### 生活水の安全確保

本年度末における給水人口は15,308人、給水戸数は4,997戸で、前年度末に比べて給水人口が65人減少し、給水戸数が20戸増加している。この状況で、上水道事業会計は総収益2億9805万円で純利益は6270万円となり、前年比202万円増加している。

新年度からの料金改正による減収も見込まれ、また、未収額も前年比108万円の増加、不納欠損額の増加傾向なども踏まえ一層の徴収努力が望まれる。

給水人口	15,308人
給水戸数	4,997戸
年間総配水量	1,492,000m <sup>3</sup>
1日平均配水量	4,088m <sup>3</sup>

収益的収入	3億1212万円
収益的支出	2億4314万円
資本的収入	5667万円
資本的支出	2億135万円

※資本的支出の資金不足分は建設改良積立金等を補てん



# 平成23年度 一般会計補正予算 (第1号)

4150万円を追加し総額52億9950万円とする

## 主なもの

◇東日本震災関係 330万円

職員派遣に係る経費・支援物資など

\*石巻市へ派遣・福島市へ物資支援

◇電算管理費 362万円

システム改修委託料など 補正後 7727万円

◇工業用水道費 4824万円

測量・詳細設計業務委託料など

\*県営・町営工業団地への給水

◇広域消防委託費 △1892万円

常備消防業務委託料 補正後 1億6760万円

## 固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

■委員の役割 固定資産の評価について納税者から審査の申し出があった場合は、必要な調査や審査を行う。

宿郷 靄野十郎氏 (再任)

湯無田郷 太田正憲氏 (新任)

### 第3回 7月12日に 臨時会 招集されました。

議会推薦農業委員会委員の4名を選任した。

志折郷 前田 好紀氏	井石郷 森林 秀子氏	稗木場郷 古田 政好氏	川内郷 村田富士利氏
---------------	---------------	----------------	---------------

専決処分の承認  
平成22年度  
一般会計補正予算(第7号)および特別会計補正予算 4議案4件などを承認

財産取得  
町営工業団地用地の取得  
所在地 宿郷1201番 他28筆  
面積 約4.7ヘクタール  
取得額 約3688万円

### 第2回 臨時会

5月16日に招集  
されました。

## 主な賛否表

○賛成 ●反対

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
議決の結果	表決数	古川千秋	尾上和孝	藤川法男	松田宇子	川田保則	今井泰照	太田一彦	松尾道代	原昭治	松林一夫	福田洋吉	大久保進	武村龍宏	中村與弘	松尾幸光
議案第38号 専決処分の承認を求めることについて(波佐見町税条例の一部を改正する条例)	承認 15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号 平成22年度波佐見町上水道事業会計決算認定について	認定 15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号 平成23年度波佐見町一般会計補正予算(第1号)	原案可決 15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号 波佐見町公共下水道条例の一部を改正する条例	原案可決 15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号 財産の取得について	原案可決 15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号 町営住宅鹿山団地建替工事請負契約の締結について	原案可決 15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 行動する委員会

## 所管事務調査報告



東日本大震災後の地方自治体への影響について調査を行った。

すでに建設課においては、補助事業費が約3分の1から4分の1に削減されている。

震災から2ヶ月の時点で、死者1万4949人、行方不明者9880人、避難生活を余儀なくされている方が、11万7000人。被災地は未だ瓦礫の山で、復興までは、財源などの長い道のりが予想される。

今後、地方も我慢を強いられることが考えられる。町の歳入面で財政係の判断は、「交付税を満額交付してくれるか不安はあるが、何らかの措置で今年度は確保してくれると思う。



平成2年7月2日集中豪雨による浸水状況

ただし、来年度以降については不透明だ。」

早くも減額の内示があった事業があり、今後も予測されるため、基金の活用や起債の方法と英知を絞って経済を縮小させない努力が必要である。

大震災を教訓に、本町の防災対策の強化が必要である。また、年々嵩む電算関係費の経費節減を視野に入れ、今後、先進地の調査を行い、町民の安全と町の活性化につなげたい。

(4・5月 2回開催)

### 不採択 1件 請願

#### 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

##### 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書 (要旨)

教育の機会均等、教育の維持・向上を図るため、義務教育費国庫負担率を2分の1に復元することを含め、義務教育費国庫負担制度を堅持し、必要な財源が将来にわたり確実に確保されるよう内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣に対し、意見書を提出されること。

平成22年12月24日提出

請願者 大村市竹松町671-1  
県教職員組合大東支部  
支部長 一ノ瀬洋二郎

本請願は、22年12月議会終了後に提出され、23年3月議会で総務文教委員会に付託、審査を行った。

他市町では、国の予算編成に十分間に合う6月・9月議会に提出されており、請願者からの提出時期についても大きな開きがあった。

したがって本町では、国の予算編成はほぼ確定された状況下にあるなど、意見書の提出時期は大幅に逸していると考えられた。

さらに、東日本大震災の被害は想像以上に甚大であ

るため、今は、被災者の救済や被災地の復旧・復興に、国の財源を最優先的に投入し、支援に全力を注ぐべきであるなどの意見も多かった。

この案件は毎年度、再提出の可能性も想定されるなどを勘案し、委員会の審査結果は不採択。意見書の提出はしないことに決定した。

本会議においては、委員会の決定に至った経緯の説明を求め、慎重に審議した結果、意見書の提出は、反対多数により否決した。



## 産業厚生 委員会

西ノ原土地地区画整理事業について、町・県道の整備計画、塵芥処理問題、国民健康保険料の抑制を踏まえ、以上4項目について建設課、住民福祉課、健康推進課と協議を行った。

○西ノ原土地地区画整理事業については、平成23年度実施計画として8000万円要望したが、東日本大震災により一律27・5%削減され、5800万円の内示があった。

事業見直しに対しては、平成22年度に長崎県公共事業評価監視委員会に対応を「継続」とした。

○町、県道整備計画については、万年橋架け替え計画が変更になり、平成23年5月中旬に再調査業務が発注され、6月に補償調査実施、

その後、用地および補償について、地権者と交渉に入る。

○塵芥処理問題は、ごみ処理の見直しについて、本町は県北佐世保ブロックに区分されている。現在までの佐世保市との協議では、大変厳しい回答をいただいている。現処理場が後20年稼働できるとしても、県・佐世保市・東彼三町の協議を重ね、早期に将来の展望を決定されなければならない。町内のごみ集積箇所は、現在376箇所、毎年10箇所の新設がある。

一方、自治会によつては、ごみを出さない工夫をされている地区もあり、参考にしたい。

○国民健康保険の各種検診率については、全体に横ばいながら、各自治会の格差が著しい。

特に、志折郷、平野郷、野々川郷の検診率が高い。なお、受診率の向上に向けて早朝の検診、土日曜日の検診、待ち時間の短縮など、非常に努力されている。  
(5・6月 2回開催)

## 企業誘致 対策特別 委員会

○東日本大震災による進出企業の現状について

●長崎キヤノン(株)については、部品の調達関係で安定供給ができないため、3日間休業した。

また、ミニポートピア長崎波佐見については、電波が不安定で各ポート場で実施される映像の送信ができないことと、電気の安定供給が困難で19日間の休業となった。

○今後の企業の考え方

●長崎キヤノン(株) 一眼レフカメラは増産傾向にある。コンパクトデジタルカメラについては、シェアは一位であるが、今後のコスト競争は大変厳しいとのこと。  
雇用は、22年2月当初に846名でスタートし、3

月末900名、4月新社員114名、さらに中途採用および大分工場からの移動を含め、現在1,050名体制となった。

また、社会参加活動は活発で、町のまつりに協力され、街頭での交通安全や、クリーン作戦として町内清掃活動も実施されている。

クラブ活動は、野球・バレー・ラグビーなどの同好会があり、野球は甲子園経験者も数名いる。

工場見学は、小・中学生は多少の受け入れは可能だが、一般の人は受け入れが難しい。

居住状況は、従業員1,050名の内170名が本町で、大村、佐世保周辺の通勤可能な範囲に居住されている。

現在、アパートは満室状態であり、特に、家族向けのアパート建設が望まれている。

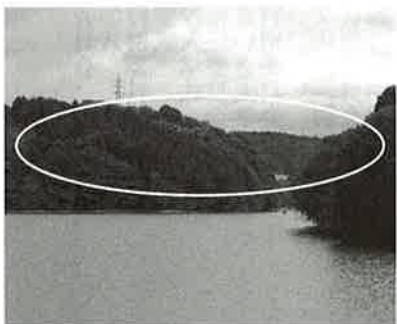
●長崎キヤノン(株)関連企業の進出状況については、既進出企業として、(株)テクノ、(株)ダイソー、(株)レパストの3社があり、電子部品製造

業2社が打診されている。なお、震災後企業分散の傾向にあり、長崎キヤノン(株)はその動向を視野に入れ進むものと判断される。

東北地方で製造されるレンズ部門が大分、波佐見に来る可能性もあり、雇用も考えられるが、工業用水の確保が不可欠とされる。

○町営工業団地の造成について  
●事業年度は、22～24年度の3ヶ年間。  
計画開発面積 約5.0ha、有効面積3.0haであり、概算事業費5億8500万円。

誘致可能な業種は、キヤノン関連企業、自動車関連企業、その他製造業などが見込まれる。(4月開催)



猪狩溜池から望む(宿郷)

# 質問一般

施策を問う!



中村與弘議員

- 持ち手の付いた使いやすい安価なゴミ袋の改良は
- 災害が心配されるが、危険箇所の点検は!
- 合理化を図るため、監査委員の共同設置の考えは

**問** 長年ごみ袋の改良が求められているが、できない原因は何か。

**町長** ごみ袋の料金は波佐見町独自の料金でなく、東彼地区保健福祉組合で設定している。今のごみ袋を改良した場合、作成費用は今までの2倍近くかかり、3町での町民の声として要望は決して多くない。

生活に密着した問題であるので、今後も検討したい。  
**問** 梅雨に入り、災害が心配されるが、災害危険箇所の点検は行われたのか。

**町長** 毎年、雨期を前に各自治会長を通じて災害危険箇所の調査を行っている。

その結果、19地区53ヶ所の危険箇所の報告があり、現地調査し、今年度の危険箇所として26ヶ所を登録している。緊急性の高い箇所から、できる限り制度事業の導入を図り、対応したい。また、本年度の防災会議でも現地視察を行い、関係

機関の連携と情報の共有化を図り、認識を深めた。

**問** 監査委員制度について、地方自治法で規定された共同設置を行い、簡素化と経費の節約を図り、事務の合理化を図る考えはないか。

**町長** 今回の地方自治法の改正は、地方自治体の組織及び運営について、その自由度の拡大を図ることと、直接請求制度について、その適正な実施を確保するた

め行われたもので、監査委員制度の共同事務化も本改正に該当する。

今後とも、より適正かつ効率的、効果的な行政事務を図るべく、共同処理について引き続き研究していく。

監査事務の共同処理については、独立した行政機関であるので、今後とも関係機関の動向を見極めながら、適正な対応をして参りたい。



現在使用中の40円袋 (左)、持ち手の付いた30円袋 (右)

## 議員活動

27	26	21	20	19	13	12	8	6	4	28	15	10	9	3	30	24	16	12	11	9	6	5	29	26	25	19	17	15	14	13	8	7	6	
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
広報調査特別委員会	産業厚生常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会	総務文教常任委員会

- 固定資産税(評価額)見直しは…。
- 災害被災者見舞金支給規程を見直して対象範囲を広げることとはどうか。



武村龍宏議員

**問** 鹿山団地建て替えは、防災、減災に安全が求められる。団地全体の段差を可能な限り少なくして、地域とのコミュニケーションがとりやすいような団地づくりなのか。

**町長** 高齢者などの安心・安全の対策を図り、より安価で快適な住宅を基本としている。

**建設係長** 今ある敷地を有効利用する。

用地買収は伴わない計画。高低差3.5Mあり町道との接続などから地形に沿った形でコスト縮減を図った。

**問** 住宅の品質確保の促進、施行令と言ったことを折り込んだ団地づくり計画か。

**建設係長** 法に基づいた計画をしている。駐車場からの出入はスロープを取り入れている。

**問** 防災無線放送施設整備計画の進捗はどうか。国の考えなど取り込んだ実施計画書は、公益法人などに委託か。

**町長** 23年11月頃に実施設計完了、24年度施設整備の工事発注の計画。

**総務課長** 現施設は聞きづらいところもあり、デジタル化することで実施設計を

行う。

難聴のエリアがないように整備拡大などに取り込む。県の危機管理課のアドバイスなど受けていく考えで、秋に向け進める。

**問** 災害被災者に対する見舞金支給規程の見直しを行い、支給対象範囲を広げるなど検討する考えはないか。

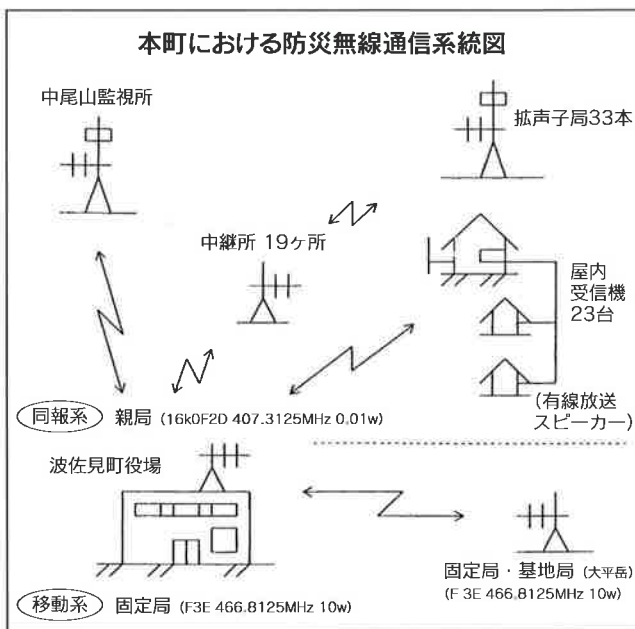
**町長** 災害見舞金など、見直しは考えていない。災害見舞金は支給している。ま

た、全壊・半壊の状況に

じ、社会福祉協議会が行っている。適切な対応が出来てきていると思っている。

**副町長** 全壊・半壊の判断のときの状況によるかと思うが、規定を設けるのが必要か、研究したい。

**問** 宅地評価額見直しは。認められると、評価額変更も考えられる。



見直し進むか、実施計画……？

## 県下町村議会 議員研修会

7月4日、長崎市町村会館にて開催された。

● 地方自治法第34次 改正と議会運営

講師 新潟県立大学 准教授 田口一博氏

地方自治法第34次改正とは、自治体の自由度の拡大・直接請求制度の改正である。地方自治法改正の多くの部分は「自由度の拡大」であることから、各自治体ごとに地域の実情に合わせた議論をしていくことや、同時に制定された「地域自主自立改革推進法」は、自治体に対する義務付けを緩和するため「地

域主権改革一活法」として提案された。省令・告示などの文言が「定める」という義務付けが「定めるよう努める」に変わったのが、何が変わったのか分りにくいこともあるので、心して行くことも大事であるとの講義を受けた。

● これからの政局・政治はどうなる

講師 政治評論家 浅川博忠氏

いまの政権の問題点は、一つに、外交、防衛、財政など国民に対し中長期のビジョンが示されず、党としての綱領(憲法)がない。二つには、政治主導で主義主張が強く、有能な役人の活用が少ない。このことが失政を行い、国益を損ねているとの講義であった。



県下町議会議員150名参加





太田一彦議員

## ● 旧講堂の 保存・活用は？ ● 陶器まつりに 県物産展を！

保存活用研究会を22年6月に立ち上げ、さまざまな研究・協議をした結果、多目的ホールとしての活用が好ましいとの提案があった。

特に平日の昼間は児童館として、夜間・休日はコンサートホールや、パーティー会場・展示会場などの提案がなされた。3月には各種団体や知識経験者、公募委員からなる委員会を設け協議中である。

**問** シンポジウムなどを開き、もつと広く町民に知らせる場や、意見を取り入れる場をつくってはどうか。

**町長** 文化的、歴史的なものに関心の高い方々との意見交換などができれば、使道はまたあるのではないかと思います。寄付なども考えています。

**問** 波佐見陶器まつりについて、次年度さらに来場者数を増加させるために、「長崎県の物産展」を誘致できないか。

**町長** 役場若手職員による旧講堂（公会堂）について平成22年1月15日、国の登録有形文化財に登録された。具体的な保存活用策はどのように進めているのか。



古川千秋議員

## ● 地域防災計画の 共有化を！

香と思うので、最優先的に取り組む必要がある。東日本大震災以降、各自自治体防災計画書の見直しが行われている。

今後、本町も県の指導を受け、会議の在り方も含め、見直したい。

**問** 行政機関や公共的団体などと消防団、自主防災組織（自治会）とが、もつと連携を強化すべきではないのか。

**町長** 災害が発生した場合、人命救助が第一であり、迅速かつ的確な行動が求められる。

そのため、自主防災組織と消防団の機敏な連携活動が地域住民にとって大きな力となるので、今後、防災体制づくりに万全を期したい。

**総務課長** 秋には、これまで実施していなかった防災避難訓練を計画している。また、要援護者に対するマニュアルも作成し、十分

**問** 防災計画と防災会議の在り方の見直しを早急にするべきではないのか。

**町長** 今回の震災後、想定外という言葉を使えない状況にあり、電源や水源などのライフラインの確保が一

機能するよう民生委員などを交えた総合的な会議を定期的に実施する必要があると感じている。

**問** 水防器具資材と食料および生活必需品などの備蓄の精査と、補給路の確保はできているのか。また、東地区に水防倉庫の設置は必要なのか。

**町長** 資材は、南地区4分団詰所横の水防倉庫と、役場水防倉庫の2カ所に土の

う袋など20種類ほど備蓄している。食料や生活必需品は備蓄していないが、大規模災害時には県や国の総合食料局、日本赤十字社への供給要請を行うとともに、広域総合

応援協定を結んでいる近隣市町や、JAなどへの協力要請を行う。

**総務課長** 新たに東地区に水防倉庫が必要かどうか、今後、内部で協議したい。



毎年発生する裏山の土砂災害（村木郷）





年に1回行われているコンサートの様子 (旧講堂)

**町長** 県全体で「食べて飲んで贈って」というキャンペーンをやっており、町村会もどんどん進めている。そう言う面では、環境が整えば早く手を打てるのではないかと思う。

有料駐車場の設置および管理に関する条例を提案したが、投資効果などの面で否決された経緯がある。現在、駐車場舗装改修や区画の整備、公衆トイレも水洗化され、今後、高速道路料金の見直しや、JR博多シティとの関係も考慮し有料化に向けて検討を進めたい。

**町長** 平成18年3月議会に

**問** 陶器まつり第二会場

(岩峠駐車場)をまつり期間中以外の活用策として有料化できないか。

## ● 福祉対策に充実を！ ● どうなる？ 土地区画整理事業



松田宇子議員

**問** 病児・病後児保育室の施設は、設置に向け検討中とのことだったが、条件は整ったか。

**町長** 郡内3町で協議をしているが、委託先・委託金額などの問題があり、進ん

でない。今後も引き続き協議していきたいと思う。

**問** 心身に発達障害の兆候が見受けられる子どもにも、早期の段階で実情に応じた支援策が必要と思われる。保育所に支援員を派遣する考えはないか。

**町長** 幼児検診の結果において、成長発達に経過観察が必要と認められる場合には、東彼3町で発達相談支援を年8回実施し、5歳児を対象に就学に向け準備ができるよう小児科医などの相談支援を実施している。町独自の支援員派遣は困難であり、県の巡回支援を利用してもらいたい。

**問** 在宅介護の家族にも高齢化が進み、孤立化など事態は深刻化している。相談訪問や医療・介護・福祉の窓口を一括した相談所を設けることも、視野にいれるべきと考えるか。

**町長** 全体的な高齢者の相談窓口は地域包括センター

に設置しており、介護保険サービスなど相談を受け、問題解決の支援をしている。町として設置することは難しいと考える。

**問** 土地区画整理事業の進捗率は17%と低迷している。財政の立て直しを図りながら起債して事業展開はできなかったのか。

**町長** 健全財政を堅持しながら、いろいろな事業を縮小し、8000万円なら何とかやれるとご理解の中でスタートしてきている。

南側の造成地の完了を区切りとして、終わることを前提に、西ノ原地区の活性に向けていこうという話も投げかけている。



身障者ふれあい「ユニカール」



松尾道代議員

- 大震災を教訓に  
災害対策は・庁舎の建設は
- 旧講堂の保存活用  
もっと多くの意見を聞いて

**問** 本町の庁舎は昭和36年に建設され、およそ50年。東日本大震災を教訓に最も安全な場所に庁舎の建設を計画すべきと考えるが。

**町長** 耐震診断の結果、建物全体の体力の低下が見ら

れ、相当の補強工事をしなければ耐震化をクリアできない状況にある。

今後、庁舎改築に向けて検討していく必要があると考えるが、さまざまな課題が想定される。

**問** 旧講堂の保存活用が協議されている。

私の周りの多くの人は、建つてすることに意義があると考えられ、最小限の改修を行い、歴史的価値、建物自体の尊厳を守りながら町民の宝として公開すべきとの声が多いが。

**町長** 私の周りでは「残すだけでどがんすつとか。利活用せんば、何のために残すとか。」ですね。

**問** 町長が考えておられる利活用は多額の改修費が予想される。

ここには補助金は無く、一般財源と寄付金と聞く。また、震災により来年度以降の財源の見通しは全くたない中でよいのか。

**商工企画課長** 平成5年

(18年前)に改修の試算で、耐震を抜きにして1億円ほど必要と思われ、議員提案でも最低、それくらいのお金はかかる。

**問** 町民は、大きな財源を伴う講堂の活用協議があつていることを知らないと思う。

保存活用委員会の協議を公開し、傍聴できないか。

また、ケーブルテレビで放送できないか。

**町長** 公開というのは非常に言葉の響きは良いが、意見が出にくい。

**問** 現段階では土地区画整理事業は考慮せず、協議を進められているか。

**町長** 最終的に換地計画を見直し、変更することも可能かと考える。



コンサートは講堂の生命を育み、町民はその生命に育まれる



福田洋吉議員

- 西ノ原地区街づくり推進委員会  
提出の請願書の対応は
- 職員の綱紀肅正は
- 健康診断の受診率を  
向上させるための対策を

**問** 西ノ原地区街づくり推進委員会および関係自治会長連盟で提出の請願書については、どのように受け止め対応されているのか。

**町長** 請願については議員の紹介による重要で大変重

みのあるものと認識している。

昨年12月22日街づくり推進委員会と、現在の工事の状況と今後の対応について協議をした。

特に、西ノ原環状線の造成工事区域の土地利用の有効活用・区域内の排水防災対策・旧公会堂の保存利活用による街区構成の検討など優先区域とし整備する旨説明を行った。

**問** 平成27年度に南側環状線は完了予定であるが、25と26年の中ではつきりした方向を明示するべきではないか。

**町長** 平成30年ぐらいついでに一定の方向を地域の皆さんと腹を割って話をし、よりベターな解決策をつくり、国県にお願いをしたい。

**問** 本町職員が地方公務員法第33条により減給処分を受けているが、推薦責任者である町長の責任はどのようなに取られたのか。



● 水辺の公園の計画はどうか？  
● 国保の受診日数に差があるが？



川田保則議員

**問** 鴻ノ巣公園展望台の眺望が悪いが、その対応は。  
**町長** 西側の隣地については、民有地であることから、所有者の意向が大事であり、今後の状況を見ながら判断したい。周辺町有地内の樹

木については、伐採や剪定などを実施する。

**問** 鴻ノ巣グラウンドの排水が悪いが、その対策は。

**教育長** 各種スポーツで幅広い利用がされている。近年、雨天時の排水が悪く利用者には支障をきたしている。

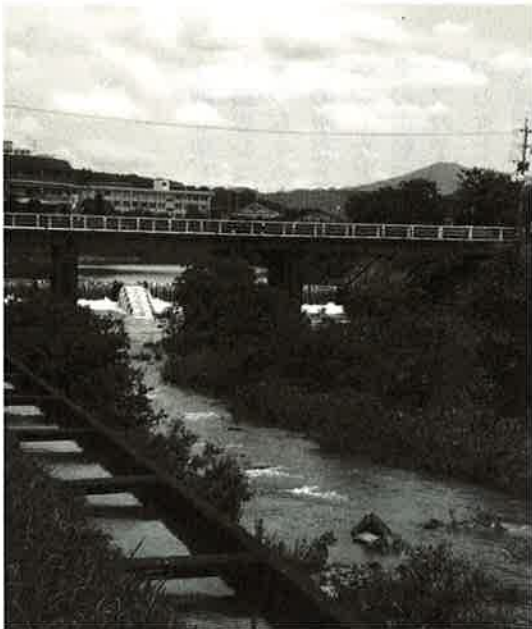
国や県の補助事業などの調査を行い、該当事業があれば、早急に振興計画に上げ、対応したい。

**問** 湯治楼開業の一周年と、西前寺道路完成を記念する合同イベントの計画はないか。

**町長** 町として取り組む考えはないが、観光協会が今夏に開催する「はさみ夏まつり」で、湯治楼や清旬の郷、周辺道路の整備完了に伴い、まつり主会場のレイアウトが容易になり、現在、イベントの企画検討されている。

**問** 水辺の公園計画はないか。

**町長** 新たに河川内に水辺



美しい水辺の公園になるか？（西前寺橋下流）

の公園など整備する場合、水辺の施設において階段や護岸、散策路などを整備する「ふるさと輝くみんなの水辺づくり事業」がある。地元から町、県に要望書の提出があれば進めてまいりたい。

**問** 国保の受診日数などに大きな差があるが、その要因はなにか。

**町長** 町全体を見ると、疾病の受診件数上位は循環器系で、主に高血圧性疾患と、消化器系で、歯肉炎お

よび歯周疾患である。

点数は循環器系、精神行動傷害となっており、地区別に見ると、受診件数は循環器系、消化器系が上位にある。

特に50歳代の循環器系が上位を占め、地区ごとの偏りについての分析は実施していない。

20年度以降3ヶ年を見ると、一人当たりの受診率・受診点数は、野々川郷・鬼木郷などが下位を示している。

また、報酬の伴う調査については、町の職員、その家族も含め携わるべきではないと思うが、どうか。

**副町長** 今回の調査員推薦については専決規定に基づき、副町長が行った。専決権限がある副町長以下を町長が嚴重注意の処分をした。調査員などの今後については、職員は調査員にはならない旨通知している。

**問** 各種の健康診断を実施

されているが、自治会別の受診率に大きな開きがある。受診率の向上改善に努力された自治会に、改善策など発表していただく場を設ける考えはないか。

**町長** 目標達成については広報誌などでお知らせしているが、特に向上につながったと考えられる点について、自治会長の折に発表していただきたい。



平成27年度完了予定の南側工区

# 私もひとこと

## 地域への想い



協和郷  
松下和徳

私が住むこの地域に温泉ができたのは小学校に入学する頃で、よく祖父に連れられてアイスクリームを楽しみに一緒に歩いて行きました。当初は小規模でしたが良質な泉質が評判となり、施設の充実が進み、近隣にも旅館や民宿・飲食店と昼夜を問わず賑わうようになりました。

そんな賑わいも平成になつて衰退していき、平成18年6月には40数年の営業に幕を下ろしました。廃業してもあまり影響は無いのかなと思つていましたが、飲食店や民宿などの廃業が続ぎ、商店街の寂れようは目を覆いたくなるほどでした。

核家族が増え少子化の今、地域を「大きな家族」と考えることが求められていると思えます。育てて頂いたこの地域を想い、ここに住まう人たちが訪れた人たちが、「心和み癒される」、そんな「ホッ」とする場をつくる……この時代にご縁を頂いた私ができる小さな一歩だと感じています。

を取り戻しました。農家レストランでは地元の方々の農産物・お土産の販売と情報発信のイベントなどが行われ、温泉の湯船ではスポーツクラブの子どもたちが地域の方々とふれあい、優しく言葉をかけてもらっています。交わすあいさつ、周辺施設での交流、ここに生まれるあたたかい気持ち。



稗ノ尾河川公園のめがね橋 (小樽郷)

### 記事の訂正について

「こんにちは！議会です」No.114号の記事に誤りがございました。訂正しお詫びいたします。

12ページ中央 分析表 項目

- 【誤】⑤自治会の合併に関する意見
- 【正】⑤自治体の合併に関する意見

## 次回の定例会は 9月中旬 からの予定です

### 編集後記

「緑と水を考える会」が主催する波佐見川の清掃作業に、議会広報誌の表紙をかざる写真を求め、河川敷に向いた。中央校区の小学生や、波中女子ソフト部員・成人など約50人が参加された。

わずか一時間余りの作業であつたが、少々バテ気味の私を尻目に、炎天下のなか、滴る汗をものともせず、笑いとジョークと、はつらつとしたエネルギーな行動はとても眩しく、まさに「若い力」の結晶であり、これからの町の未来を支える頼もしさが連想された。

時間を共有したことで、気分は爽快であつたが肝心の写真の出来映えは？



- 議長 松添 一道  
 議会広報調査特別委員会  
 委員長 松田 宇子  
 副委員長 川田 保則  
 委員 藤川 法則  
 古尾 千孝  
 川上 秋孝